

ニイハマ写真部 オンラインまち歩き撮影会

真鍋博アートツアー



真鍋博 昭和7年～平成12年(1932～2000)

現在の新居浜市別子山に生まれ、3歳から高校卒業までは中萩で過ごす。東京の美術大学に進学し、卒業後、星新一や筒井康隆をはじめ、多くのSF小説のイラストを手掛けたことや、緻密で繊細な未来画を描いたことで知られる。舞台美術、アニメーション、グラフィックデザイン、著作活動など多方面で活躍した。カラフルな鳥が好きで、作品にも数多くの鳥が登場している。

1980年代以降、新居浜市では公共事業に芸術・文化を取り入れようと、真鍋博さんのご協力を得て公共作品が誕生した。

4 別子銅山記念図書館/北新町10-1 昭和63年(1988)

移動図書館「青い鳥号」



約3000冊の本を積んで市内34カ所を巡回する移動図書館。「文化を家庭に届ける幸せの青い鳥」というイメージで誕生した作品。つぶらな瞳が愛らしい。

「としょくん」

本を読んでいる可愛い木馬。リーフレットの表紙や貸出用手提げ袋などにも使われていて、図書館のマスコットキャラクターとして親しまれている。



5 新居浜ウイメンズプラザ/庄内町4-4-19 平成元年(1989)

ロビー壁画「ひらくひと」

「風に乗って女神たち、新しい日々を 明日へ 未来へ」というメッセージが込められている。銅板やアルミ、真鍮、ニッケルなど新居浜にゆかりのある素材を使用。理想のカーブを表現するために、原寸大の用紙で作業などのご苦労があった。



1 中央公園/繁本町3 昭和60年(1985)

核兵器廃絶都市宣言モニュメント

南側に山々を、北側に海の波を表現した陶板モニュメント。陶板が何重にも重なって陰影がある立体的なデザインが見所。色づきもカラフルで可愛い。Manabe Hiroshiの名前もお見逃しなく!



2 山根公園屋内プール/角野新田町3-14-2 昭和62年(1987)

ロビー壁画「光とあそぶ」



明るい太陽の下で遊ぶイメージを表現した作品。素材は、当時新居浜で生産されていたアクリル板を使用している。エンボス加工や大理石風など表面の異なる質感が楽しめる。

多目的ホール緞帳「飛翔」

コンセプトは「未来へはばたく女性の優しさや華やかさ」。製作中は、京都の織物会社へ度々打ち合わせに足を運び、製作過程を細かくチェックするなど、細部までこだわり、圧倒的な存在感を放つ緞帳が完成した。



3 上部児童センター/中萩町10-13 昭和62年(1987)

外壁画

新居浜で製造されたカラーアルミを切り抜いたカラフルな列車と、コンクリート壁との材質の違いにより、強さや変化を表現している。列車の最後尾車両にあるManabe Hiroshiの名前に注目! 真鍋博さんは、高校時代、別子鉱山鉄道に乗って通学していた。



6 篠場配水池 / 山田町 平成2年(1990)

タンク壁画



「聖なる水の源」のイメージで青や緑色を基調に水面を表現した作品。松山自動車道からもよく見える場所にある。近くの治良丸配水池もお揃いのデザイン。

森の中にひっそり佇む配水池。緑とのコントラストも美しい。



7 治良丸配水池

Hello! NEW

新居浜